

課題： 日本の近代産業はどのように発展していったのか？

教： P.182～183

14. 日本の産業の発達

(1) 軽工業(紡績・製糸) <1880年代>

…アメリカ向けの輸出によって発展→日露戦争後、世界最大の輸出国となる

(2) 重工業 <1890年代>

①石炭の採掘(北海道・北九州)…製糸・紡績業の動力源

②官営八幡製鉄所操業開始(1901年)

③産業の発展によって、公害問題の発生

→足尾銅山鉱毒事件(栃木県)

15. 交通の発展

(1) 東海道線(東京～神戸)全線開通(1889年)

(2) 主要な民営鉄道の国有化

…軍事上、経済上の理由から民営の幹線鉄道を国有化

(3) 海運業と貿易

…日清・日露戦争後にアジアを中心とした海外市場の拡大、関税自主権の回復

→貿易のめざましい発展

岩崎弥太郎の日本郵船会社が
政府の手厚い保護を受けて、外
国航路へ進出。

16. 資本家と労働者

(1) 労働運動

…労働組合の結成、労働条件の改善を求める労働争議の増加

政府の対応：集会・結社の自由を制限 ⇄ 工場法の制定(就業年齢や労働時間の規定など)

(2) 財閥の成長

…日本の有力な資本家は金融、貿易、鉱業などさまざまな分野に進出

→三井、三菱、住友、安田 など

17. 地主と小作人

(1) 都市の人口増加と鉄道の普及

…農作物の商品化が進む(特に製糸業を支える養蚕業の発展)

(2) 小作人や農民→生活が苦しく、子供を働きに出したり副業を営んだり

(3) 地主→株式への投資、企業を作るなど、資本主義との結びつきを強める

まとめ：